※注記等のBOXをすべて削除後にPDF化し、フォームからご提出ください。

大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型

起業活動支援プログラム（GTIE GAPファンドプログラム）

研究開発課題

申請書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2022年　　月　　日提出

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | コース名 | 共通項目 | コース別項目 |
| 単願 | グローバルコース | 1～16  （一部項目は申請フォームに  要入力） | 17-1 |
| ユニコーンコース | 18 |
| スタンダードコース | 17-2 |
| 併願 | グローバル＋スタンダード | 17-1、17-2 |
| ユニコーン＋スタンダード | 17-2、18 |

注1：標題１４～１７はＡ４・１５枚以内を目安とし、査読のしやすさに留意して作成してください。  
注2：標題１４、１５はパワーポイント１０ページ以内を補足説明資料として作成し、本申請書と別に提出していただくことも可能です。

**１．研究開発期間**

※契約日はJSTとの契約完了日です。

契約締結日～西暦　　2023年　　3月　　31日

**２．研究開発名称**

※面接審査に進んだ場合、別名称に変更可能です（変更しなくても構いません）。

**3．申請者（研究代表者）情報　( 氏名、所属、役職は英文でも記載お願いします)**

氏名　　　： フリガナ　：

Name:

生年月日：　西暦　　　　年　　月　　日　（　　歳）

所属機関： 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　部署　　　：

Affiliation:

役職　　　：

Title:

住所　　　：　〒

※応募の要件を満たすことが必要です。住所は研究室等の所在地

電話番号： E-mail　　：

**4．研究機関担当者（産連本部等担当者）情報**

氏名　　　： フリガナ　：

所属機関：

※産学連携本部等、大学として本プロジェクトを支援して頂く担当者を記入してください（必須）。

部署　　　： 役職　　　：

住所　　　：　〒

電話番号： E-mail　　：

**５．申請コース**

※左の該当する分野のチェック欄に、「レ」を記入ください（1つのみ選択可）。

　①　グローバル　およびスタンダードの2コース（採択はいずれか1コース）

　②　ユニコーン およびスタンダードの2コース（採択はいずれか1コース）

　③　グローバルコースのみ

　④　ユニコーンコースのみ

　⑤　スタンダードコースのみ

※Globalは3,000万円以内、

Standardは1,000万円以内  
ユニコーンは500万円以内

※直接費のみ記載ください

※ユニコーンは、1～2月に実施する海外パートナー候補訪問およびUCSDでの結果報告に要する旅費も申請金額に含まれます。

**６．申請金額**

|  |  |
| --- | --- |
| コース | （千円） |
| グローバル | ※30,000千円以内 |
| ユニコーン | ※5,000千円以内 |
| スタンダード | ※10,000千円以内 |

**７．提案分野**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発分野 | チェック欄 |
| ライフサイエンス（ヒト） |  |
| ライフサイエンス（ヒト以外） |  |
| アグリ・フード |  |
| 量子コンピュータ・半導体 |  |
| 材料・素材 |  |
| GX（環境・エネルギー等） |  |
| 宇宙・航空 |  |
| DX(情報通信・AI等) |  |
| その他 |  |

※左の表で該当する分野のチェック欄に、「レ」を記入ください（複数選択可）。

「その他」の研究開発分野の内容　：

※「その他」の場合は内容を自由に記載ください。

|  |
| --- |
|  |

**８．研究開発概要**

（１）目指すスタートアップの事業内容　： 　（300字以内）

|  |
| --- |
| ※想定する具体的な応用分野、想定している顧客用途、想定される顧客の使用機会および市場規模  ※想定する製品・サービスによって解決しようとする課題・ペインや、もたらされる価値、うれしさを記載してください。 |

（２）目指すスタートアップの技術内容　：（300字以内）

|  |
| --- |
| ※想定する現在保有する技術シーズや今後開発する技術シーズの活用方法  ※想定する競合となる技術  ※想定する事業化へのハードル |

（３）本研究の実施概要　：（300字以内）

|  |
| --- |
| ※本研究で実現する内容を記載ください。知財・特許、試作開発、市場開発、事業開発等  ※スタートアップ設立に向けて本研究で目指すマイルストンなどを記載ください。 |

（４）本研究における企業との実証実験の計画および希望

　①　計画あり

　②　希望あり

　③　①②ともになし

1. 計画あり」および「②希望あり」の場合、具体的な内容　：

※企業名または業種および具体的な実証内容等を記載ください。

※企業との実証実験等外部機関での実施において契約が発生する場合、または所属する機関での承認が必要な場合など所属機関による対応の可否を事前に確認してください。

　実証実験について所属する研究機関担当者による確認

**９．スタートアップ起業への意思**

（１）本技術シーズの社会実装の方法として、スタートアップを選択した背景、理由

※企業との共同研究やライセンスによる社会実装ではなく、スタートアップ起業により展開を目指す経緯について、これまでの取り組みや手応え等の背景、理由があれば具体的に記載ください。また、３年以内の起業前支援を受けるのに適切な申請時期と考えた理由があれば具体的に記載ください。

（２）スタートアップ企業に参画した経験があれば記載してください。

※参画したスタートアップ企業の事業内容、ご自身の役割等を記載ください。

（過去に関与していた場合も含めて明記ください）。

記入要領、記入例は削除して提出ください

**10．研究開発の体制**

（１）研究代表者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○山○夫 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 准教授 | 研究開発全体の統括、○○の知財取得 | 20 |

（２）主たる共同研究開発者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○山○夫 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 教授 | 研究開発項目の中で、○○○を担当 | 20 |

**※研究代表者の所属機関（A）と異なる研究機関（B）に研究開発費が必要である場合、研究機関（B）における責任者を記載ください。**再委託の実施は認めておりませんので、採択となった場合、主たる共同研究開発者の所属する共同研究開発機関とJSTが直接、委託契約を行います。**該当者がいない場合、空欄にしてください。**

（３）研究開発参加者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○藤○子 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 特任助教 | 経営者候補：ビジネスモデル検証、顧客候補の評価結果入手 | 20 |
| ○村○郎 | ○○大学 | 大学院農学研究科 | 准教授 | ○○試験、カルタヘナ法対応 | 20 |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 研究員 | △△試験、特許明細作成、先行文献調査 | 100 |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 博士２年 | フィールドテスト補助（リサーチアシスタント） | 20 |
| ○○○○ | ○○大学 | 産学連携本部知財部 | 係長 | 知財権利化 | - |
| ○○○○ | ○○大学TLO株式会社 |  | マネージャー | アライアンス探索、競合知財調査・知財戦略 | - |

※経営者候補がいる場合は本欄に記載ください。

※研究代表者とともに事業化に向けた研究開発に従事する研究者・学生（RA）等は本欄に記載ください

※経営チーム組成などに向け活用する外部人材等や、具体的に事業育成を行う人材がいれば、本欄に記載ください。

※【エフォート】

第3期科学技術基本計画におけるエフォートの定義「研究に携わる個人が研究、教育、管理業務等の各業務に従事する時間配分」に従い記入して下さい。「全仕事時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合」を記載していただくことになります。「全仕事時間」とは研究活動にかかる時間のみならず、教育活動や管理業務等にかかる時間を含めた実質的な全仕事時間を指します。

**11．参加者の専門分野、研究開発経歴等がわかる略歴**

1. 研究代表者：○○ ○○

（２）主たる共同研究開発者：○○ ○○

（３）研究開発参加者：○○ ○○

（４）研究開発参加者：○○ ○○

（５）研究開発参加者：○○ ○○

（６）研究開発参加者：○○ ○○

※研究代表者等のプロジェクトに参加する者について、本プロジェクトに関係するキャリア等に絞って専門分野や研究開発経歴などがわかる略歴を各人につきＡ４・１枚以内で記載してください。

**12．他制度での助成等の有無（民間財団・海外機関を含む）**

・研究代表者及び主たる共同研究開発者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的研究費制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む※）のうち代表的なものを記入してください

※「統合イノベーション戦略2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることと定められました。これを踏まえ、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することが求められます。

・ビジネスモデル検証支援の申請内容と関連のないものも記載してください。

・間接経費を含めた額を記載してください。

1. 研究代表者：○○ ○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2)　〃 (2022年度 予定)**  **(3) 〃 (2021年度 実績)** | **2022年度**  **ｴﾌｫｰﾄ(%)** | |
| 1 | 科学研究費  補助金  基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成  （〇〇〇） | 2021.4  －  2023.3 | 代表 | (1)　 40,000　千円  (2)　 20,000　千円  (3)　 20,000　千円 | 10 |
| 2 |  |  |  |  |  |  |  | |
| 3 |  |  |  |  |  |  |  | |

1. 主たる共同研究開発者：○○ ○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2)　〃 (2022年度 予定)**  **(3) 〃 (2021年度 実績)** | **2022年度**  **ｴﾌｫｰﾄ(%)** | |
| 1 | 科学研究費  補助金  基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成  （〇〇〇） | 2021.4  －  2023.3 | 代表 | (1)　 40,000　千円  (2)　 20,000　千円  (3)　 20,000　千円 | 10 |
| 2 |  |  |  |  |  |  |  | |
| 3 |  |  |  |  |  |  |  | |

**13．利益相反マネジメントに関する検討**

※研究代表者が類似事業のスタートアップ企業の経営に関与している場合や、研究開発参加者が類似の既存事業に関与している場合などの状況を記載ください（過去に関与していた場合も含めて明記ください）。

　例）

　　　・研究代表者が大学発スタートアップＡ社の取締役を兼業している

　　　・経営者候補が、スタートアップＢ社の取締役である

※上記状況について、利益相反の関係が想定される場合は、当該関係を具体的に記載し、実施する利益相反マネジメントを説明ください。

**14．技術シーズ**

※以下の内容についてパワーポイント１０ページ以内の補足説明資料として本申請書と別に提出可。

14．技術シーズ（研究実績）

15．スタートアップによる事業化が可能と判断した理由

（１）大学等発スタートアップ創出の基となる発明（周辺特許を含む）　：

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特許/知財  の別  ※特許の場合、発明の名称、特許番号（または出願番号）、発明者、出願人、出願日、国内外の出願の状況を記載下さい。特許以外の知的財産権の場合も、同様の情報を記載ください。  　　記載例：aaaの装置およびその製造方法、第xxx号(特願20yy-zzz)、○○○○、xyz大学、20xx年y月z日出願、外国出願予定  ※出願中・出願準備中・登録中の特許等（大学に承継しているプログラム著作物・ノウハウ等を含む）の概要（請求項に記載しているような特許等の特徴（将来の製品・サービス化を想定した場合に当該製品・サービスにおいてその知財がどのような要所を占めているか）、先行・類似特許の有無、相対的優位性）  ※発明者、技術シーズが帰属する機関等（出願人）の同意の取得は、大学知財部などの知的財産担当者が、しっかりと調査・確認したうえで、様式３「知的財産確認書」を提出してください。  ※特許を保有していない場合は、今後の知的財産権戦略を記載してください。 | 発明の名称 | 特許番号（または出願番号） | 発明者 | 出願人 | 出願日 | 国内・外国出願の状況 |
| 特許/知財 |  |  |  |  |  |  |
| 特許/知財 |  |  |  |  |  |  |
| 特許/知財 |  |  |  |  |  |  |

（２）当該技術シーズに関するアライアンスやライセンス契約等の状況　：

※当該技術シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について具体的に記載ください。

（３）当該技術シーズの創出、育成に寄与した公的支援制度（国外のものを含む）　：

※当該技術シーズの創出に関して、支援を受けた競争的研究費、助成金などについて主なものを記載ください。

（４）当該技術シーズに関連する研究業績　：

※技術シーズに関係する研究論文、国際会議での発表、著書があれば記載ください(技術シーズと関係ない研究論文等は記載する必要はありません)。

※箇条書きとし、著者名、タイトル、掲載誌名（書籍名）、巻、号、ページ、発行年等の情報、また、ポイントをおさえやすいように、概要も含めて記載ください。

※論文等は本提案に関係する業績のみに絞り込んでください。

（申請書のページ制限（全体でＡ４・20枚までを目安）を遵守ください）

（５）当該技術シーズ以外に出願中または登録済の知財の件数およびこれまでの技術移転等の件数

※以下の内容についてパワーポイント１０ページ以内の補足説明資料として本申請書と別に提出可。

14．技術シーズ（研究実績）

15．スタートアップによる事業化が可能と判断した理由

※当該技術シーズ以外の知財に関しての詳細は不要です。

※移転先の詳細の記載は不要です。

（６）現在保有する技術シーズや今後開発する技術シーズの活用方法（知財・特許先約など）：

※本GAPファンドを活用する計画があれば記載してください。（ただし、GAPファンドの研究開発費は特許等の登録費用には使用できません）

※今後の具体的な特許戦略、知財戦略の計画があれば記載してください。

**15．スタートアップによる事業化が可能と判断した理由（技術面）**

（１）技術の革新性・優位性　：

※技術シーズの革新性・優位性について、背景や技術動向を踏まえて、新市場を創出する可能性、社会や市場に与えるインパクト等を記載してください。

（２）国内外動向も踏まえた、類似技術・先行技術等の状況分析：

※比較対象となる技術の文献・特許、公開情報に関する内容を記載してください。現時点で、直接的に比較できる対象がない場合、対象を広げ、将来、後追いで競合となりうる関連技術、周辺技術、代替技術などの脅威を記載してください。

※類似研究・先行技術の進捗状況、達成見込みについて分かる範囲で調べて記載してください。

※将来（短期および中長期）、競合との競争環境がどのような状況となるか、可能な範囲で予測して、記載してください。

**16．事業育成構想（グローバル・スタンダード共通）**

（１）製品・サービスの特徴とビジネスモデル　：

※査読者にポイントが伝わりやすいよう、図表グラフ、具体的なデータ等を積極的に用いてください。

　以下の内容は記載ポイントの例示です。

●商品・サービス構想：顧客視点での魅力（新しい付加価値）。目標コスト、販売価格構想、市場の成長性・獲得シェア目標など。

●市場ニーズ、顧客のペイン：可能な限り顧客インタビュー等のエビデンスに基づき検証してください。漠然とした市場規模ではなく、用途・商流等を分析し、参入しようとするセグメントに落とし込んだうえで、狙う市場を可能な限り正確に記載してください。

●ビジネスモデル：素材調達・製造・販売など構築するバリューチェーンの説明（ビジネスモデルキャンバスなど）。ＳＴＰ（Segmentation、Targeting、Positioning）など、大企業と異なるスタートアップとしてのマーケティング戦略。

（２）競合比較　：

※査読者にポイントが伝わりやすいよう、図表グラフ、具体的なデータ等を積極的に用いてください。

　以下の内容は記載ポイントの例示です。

●他者の商品・サービス構想との性能、コスト等を含めた比較を行い、メリット、デメリットについて記載してください。

（３）想定される事業リスク把握と対応策　：

※査読者にポイントが伝わりやすいよう、図表グラフ、具体的なデータ等を積極的に用いてください。

　以下の内容は記載ポイントの例示です。

●スタートアップ設立に向けて想定されるリスク（技術開発リスクだけでなく、市場収縮などスタートアップの事業環境リスクも含む）と対応方策について記載ください（リスク評価マップ等）。リスク対応のため、活用を想定している人材や機関等がある場合は、具体的に記載ください。

●既存技術の改良や競合（後追いの潜在を含む）の技術開発動向を踏まえ、競争優位性を損なうリスク要素を検討し、対応策を記載ください。

●スタートアップの核とする知財（営業秘密として秘匿する技術ノウハウなども含む）に関するリスクマネジメント対応方策を講じていれば、記載ください。

●大学で行う研究開発環境に起因するリスクとその対応策を記載ください（共同研究による営業秘密の管理の困難、学生卒業によるノウハウ喪失、知財費用など）。

（４）収支計画　：

※査読者にポイントが伝わりやすいよう、図表グラフ、具体的なデータ等を積極的に用いてください。

　以下の内容は記載ポイントの例示です。

●スタートアップ設立から５カ年の収支計画表。裏付けとなるデータ、見積や、楽観成長シナリオだけではなく、リスク悲観シナリオや中立シナリオなどを含めて記載ください。

（５）民間資金等リスクマネー調達計画　：

※設立するスタートアップのリスクマネー調達計画として、提案時点での資本政策（粗い内容で可）、もしくは、具体的に調達目標とする年次、金額、調達先などについて、表を用いて説明ください。

※EXITまでのストーリーを含め、事業プロモーターがGTIE GAPファンドプログラム支援終了後、どのようなスタートアップ育成の関わり方を続ける構想なのか、あわせて説明してください。

（６）経営人材計画　：

**17-1．研究開発計画　（グローバル）**

（１）事業化に向けたGTIE GAPファンドプログラムでの研究開発の内容と最終目標

※事業化を行うために必要なGTIE GAPファンドプログラムでの研究開発と目標を具体的に記載して下さい。

※GTIE GAPファンドプログラム期間以降も主要な研究開発が必要な場合は、GTIE GAPファンドプログラム期間内、及び期間以降に実施する内容を明確に切り分けて記載して下さい。

（２）具体的な研究開発項目とスケジュール

※上記（１）の目標に対して、達成や解決が必要と想定している研究開発項目とスケジュールについて具体的かつ明確に記載してください。複数記載いただいてもかまいません。

※マイルストンの設定が必要な場合は、具体的に記載して下さい。

（３）企業の協力による実証実験を希望する場合に具体的な研究開発項目とスケジュール

※上記（２）ののうち企業との実証実験を希望する場合は内容について具体的かつ明確に記載してください。複数記載いただいてもかまいません。

※マイルストンの設定が必要な場合は、具体的に記載して下さい。

【プロジェクト推進工程表】グローバル（17－１に対応）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 2022年 |  |  |  | 2023年 |  |  | ２０２３年 |
| ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 | ４月以降 |
| **1.○○の知財戦略** |  |  |  |  |  |  | マイルストン：XXX |  |
| ・○○の知財マップ作製 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・今後の知財獲得検証 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **２．○○の開発と検証** | マイルストン：XXX |  |  |  |  |  |  |  |
| ・○○試作品作製 |  | マイルストン：XXX |  |  |  |  |  |  |
| ・顧客候補評価・検証 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **３．実証実験等** |  | マイルストン：XXX |  |  |  |  |  |  |
| ・協力先との契約 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・実施 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・試作品開発等 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **４．会社設立** |  |  |  | ママイルストン：XXX |  |  |  |  |
| ・経営者候補による事業計画 | 事業計画書パイロット版作成 |  |  | マイルストン：投資検討会で事業計画書骨子の報告（顧客仮説、利益仮説の検証による現実化状況） |  |  |  |  |
| ・事業計画書の現実化 |  |  | マイルストン：創業者X名の意見調整 | マイルストン：出資者全員の同意 |  | マイルストン：起業判断 |  | 10月　会社設立  マイルストン：定款認証 |
| （起業判断・スタートアップ設立） |  |  |  |  |  |  |  |  |

※Global、Standardの両コースを申請する場合は２種類の計画をご提出ください。

※１コースのみ申請する場合は１種類の未提出ください（未使用ページを削除して提出）

※上記は一例であり、自由に作成ください。ただし、事業化に向けたマイルストンをどのように考えて、スタートアップをどのように設立するのかが、しっかりとわかるように作成してください。

**17-2．研究開発計画　（スタンダード）**

（１）事業化に向けたGTIE GAPファンドプログラムでの研究開発の内容と最終目標

※事業化を行うために必要なGTIE GAPファンドプログラムでの研究開発と目標を具体的に記載して下さい。

※GTIE GAPファンドプログラム期間以降も主要な研究開発が必要な場合は、GTIE GAPファンドプログラム期間内、及び期間以降に実施する内容を明確に切り分けて記載して下さい。

（２）具体的な研究開発項目とスケジュール

※上記（１）の目標に対して、達成や解決が必要と想定している研究開発項目とスケジュールについて具体的かつ明確に記載してください。複数記載いただいてもかまいません。

※マイルストンの設定が必要な場合は、具体的に記載して下さい。

【プロジェクト推進工程表】スタンダード（17－２に対応）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 2022年 |  |  |  | 2023年 |  |  | ２０２３年 |
| ９月  マイルストン：XXX | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 | ４－９月期 |
| **1.○○の知財戦略** |  | マイルストン：XXX |  |  |  |  | マイルストン：XXX |  |
| ・○○の知財マップ | マイルストン：XXX |  |  |  |  |  |  |  |
| ・○○の優先権主張 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **２．ビジネスモデルの検証** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・メンターへの相談 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・修正 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **３．○○の開発と検証** |  | マイルストン：XXX |  | マイルストン：XXX  み。 |  |  |  |  |
| ・○○製造先（調達計画） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・○○販売のアライアンス |  |  | マイルストン：XXX |  |  |  |  |  |
| ・○○調達仕様の作成 |  |  |  |  |  | マイルストン：XXX |  |  |
| **４．会社設立** |  |  |  | マイルストン：XXX |  | マイルストン：XXX | 起業時事業計画書完成 |  |
| ・経営者候補による事業計画 | マイルストン：XXX |  |  | マイルストン：XXX |  |  |  |  |
| ・事業計画書の現実化 |  |  | マイルストン：XXX | マイルストン：XXX |  | マイルストン：XXX | マイルストン：XXX |  |
| （起業判断・スタートアップ設立） |  |  |  |  |  |  |  |  |

スタートアップで実施

※Global、Standardの両コースを申請する場合は２種類の計画をご提出ください。

※１コースのみ申請する場合は１種類のみ提出ください（未使用ページを削除して提出）

※上記は一例であり、自由に作成ください。ただし、事業化に向けたマイルストンをどのように考えて、スタートアップをどのように設立するのかが、しっかりとわかるように作成してください。

**18. 事業育成構想**ユニコーンコース応募者は下記の（U1〜U6）に進んで頂き、下記の（U1〜U6）テンプレートに沿って英語にて記載お願いします。１６及び１７の欄の記載は不要です。)

For applicant only to unicorn GAP fund program

**(U1) Definition of the problem in your business**

・Who’s your customer?

・What’s the pain? Especially, please describe the persona of your targeted customers in the overseas region.

**(U2) Clarify the specification of your solution**

・Please describe your total solution and the role (main function) of your startup in the total solution.

・What’s the difference on the specification of your total solution such as new function, high quality, and low cost against your competitors?

・Why does your total solution enable the targeted customer to solve their pain? Please describe the change of customer’s behavior before and after providing your total solution.

・What’s the unique technology by your research outcomes to realize the above specification?

・What kind of the patent do you have to cover not only technology but also your business?

**(U3) Market outlook**

・Please describe the market segmentation consisting of the above customers, especially in the US.

・Please predict the current size of the above markets and the outlook for future growth rates

・Who’re your competitors, especially, in the US? How much is the market share of your competitors?

・What’re their strategies to keep their market share?

**(U4) Go to Market, and partner strategy**

・Please describe your business model based on the role of your startup in the total solution

・Please describe the plan to launch your product or service, especially the required resource and the period?

・Which partner is essential to work with your startup?

・How can both your partner and you get the mutual benefit through the alliance?

・Please describe the negotiation plan to contact the candidates of your partners

**(U5) Financial in your future business**

・What kind of your products and services will be provided to whom in your business plan?

・Please predict P&L in your products and services

・Please describe the fund raising plan with milestones

**(U6) The actual plan and the expected outcomes in the GAP fund program**

・Please describe the plan on market exploration and prototype development for it

・Please describe the expected outcomes in the GAP fund program

・Please make a Gantt chart on the action items, the milestones, and the final outcomes including your travel expense. Especially please make a plan to visit your potential partners from January to February in 2023 and return to San Diego for the report to your mentors